

## 1. 単元名 Project2 英語のタウンガイドを作ろう (New Crown English Series I)

### 2. 単元目標

- 自分の町の魅力を発信するうえで、さまざまな様子や状態を表す形容詞を使った表現ができる。また紹介する場所の説明文の構成を行うことができる。 (知識・技能)
- 自分たちの町の魅力を発信するために、おすすめの場所について事実や自分の考えを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことができる。 (思考・判断・表現)
- 自分たちの町の魅力を発信するために、おすすめの場所について事実や自分の考えを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書こうとする。 (主体的に学習に取り組む態度)

### 3. 単元について

#### (1) 教材観

本単元は教科書の登場人物たちが、学校の英語版ウェブサイトで自分たちの町の魅力を発信することになり、それぞれのおすすめの場所を調べたタウンガイドを作り、英語で発表している。4人の生徒のおすすめの場所の紹介英文を読み取り、文の構成が①「それが何か」②「何ができるか」③「具体的描写」④「読み手への呼びかけ」からなっていることを把握し、自分の町の魅力を発信するうえで、very・old・famous・delicious・big・calm・beautiful・lovely・fresh・popularといった様子や状態を表す形容詞を使った表現を学習する。

本校の周辺には、次の4つの観光スポットがあり、それらは持続可能な社会を考えるさまざまなきっかけをつかむことができる場所であると考えられる。1. 民族博物館では奈良県内の各地から移築された9軒15棟の江戸時代の民家が建っている。そこでは木を切り、かまどや囲炉裏で燃やす生活を見ることができ、ガスや石油を燃焼させる現代の生活との違いを考え、エネルギーの有限性や、森の多様性を考えることができる。こういったことから、民族博物館では、SDGsの7番「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」と、11番「住み続けられるまちづくりを」、15番「陸の豊かさを守ろう」に関連付けることができると考える。2. 郡山城は「続日本百名城」に認定されており、桜の名所としても有名である。昭和58年に市民の手によって再建された追手門や、平成29年に修復が完成した天守台の石垣がある。次の世代にもつなげていこうとする公平性を考えることができる教材である。また3. 矢田寺は、「日本のお地蔵様の発祥の地」として親しまれている。ここでは矢田寺八十八ヶ所霊場巡りの参拝が2021年7月から再開となっており、それには「矢田寺へんろみち保存会」が中心となって寺と協力して伐採や草刈、カエデの植樹、案内板等の設置など整備が進められ、90年ぶりに往時の姿を取り戻している。これらを訪れることによってSDGsの11番「住み続けられるまちづくりを」と、16番「平和と公正をすべての人に」について考えることができる。4. 金魚は大和郡山市の生徒に「郡山市の名産は何か」と聞くと、1番最初に答えるであろうなじみ深い生き物である。幕末の藩士の副業として、大和郡山藩主柳澤保申侯の援助と、水質、水利に恵まれた農業用ため池が多くあったことが、この地での金魚の養殖・生産の発展につながっている。ただ近年は都市化に伴う水質汚濁等の環境悪化などの問題で生産量は減少しているため、なぜ水質汚濁になってしまったのか、自分たちの生活との相互性を考えることができる。これらを学ぶことでSDGsの6番「安全な水とトイレを世界中に」と9番「産業と技術革新

の基盤を作ろう」について考えることができる。

上記のように生徒は、1年間総合的な学習で養ってきたSDGsの視点を活用しながら自分たちの町を見つめなおすことができると考える。

## (2) 生徒観

本学級の生徒は小学校から英語を教科として学習し、ALTとの授業も多く受けてきている。また中学校に入ってから、ALTとのやり取りを評価するパフォーマンステストを学期ごとに行ったり、毎週金曜日はALTを入れた授業を展開しているため、英語で何かを表現し、自分の考えを伝えることが好きな生徒や、英語に興味を持つ生徒が多い。その一方で、英語に苦手意識をもち、自力で自分の考えを英語にできない子もいる。

本学級の生徒は総合的な学習の時間を通してSDGsについて学んできている。自分たちの町を見つめなおし、SDGsの視점에当てはめることで、自分たちの町の魅力を再発見できると考える。

## (3) 指導観

まず教科書の登場人物たちが作成した英語で書かれたタウンガイドを読み取り、その文の構成が①「それが何か」②「何ができるか」③「具体的描写」④「読み手への呼びかけ」であることを認識させる。次に自分たちの町の観光スポットや魅力を生徒から出し合う。1. 民族博物館 2. 郡山城 3. 矢田寺 4. 金魚、の4つを指定し、その4つの中で興味のあるトピックでグループ分けをする。それぞれのトピックは長い歴史を持ち、それを守ってきた人たちが存在する。生徒たちは実際に現地に行き、直接インタビューをすることで、その人たちの思いや歴史に触れ、より自分たちの郷土に愛着を持つことができると考える。最後にインタビューや調べたことの中で、特に伝えたい事柄をグループで英語に訳し、ALTの助けも借りながらスライドやムービー紹介の形で発信するものを作成する。

## (4) ESDとの関連

### ・本学習で働かせるESDの視点(見方・考え方)

多様性:観光スポットに関わる人にインタビューすることで、1つの事象に様々な良さが見いだせるということ。

公平性:4つの事柄には歴史があり、それらを次世代に残していくということ。

責任性:地域にある場所の魅力をj知ることj、これらjを発信していきたいという思いを育むということ。

### ・本学習で育てたいESDの資質・能力

クリティカルシンキング:普段見慣れている場所の新しい価値観を知る。

コミュニケーション能力:インタビューを行い、そこに関わる人の想いを聞く。

協働的問題解決力:グループ内で協力し、調べた場所の魅力を発信する内容を考える。

### ・本学習で変容を促すESDの価値観

世代間の公正:歴史ある場所のすばらしさを将来世代の人たちにも伝えていきたいという思いを持つ。

自然環境・生態系の保全:郷土の美しい自然に触れ、その保全に取り組む活動について知る。

### ・達成が期待されるSDGs

6.安全な水とトイレを世界中に 7.エネルギーをみんなにそしてクリーンに

9.産業と技術革新の基盤を作ろう 11.住み続けられるまちづくりをまちづくり 15.陸の豊かさを守ろう

16.平和と公正をすべての人に

#### 4. 単元の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
①適切な形容詞を使い英語で表現している。	①目的・場所・状況に大路手、事実や自分の考え、気持ちなどを述べている。	①目的・場所・状況によって、事実や自分の考え、気持ちなどを述べようとしている。
②英語を用いて文章の構成を理解している。	②読み手に伝わりやすい構成になるよう工夫している。	②読み手に伝わりやすい構成になるようにしようとしている。

#### 5. 単元の展開(全5時間)

	●主な学習活動	指導上の留意点(・)	評価(△)
1	<p>●教科書 p.110-p.111 の新出単語や表現方法を発音しながら確認する。</p> <p>●内容理解 4人の登場人物が英語で書いた町の施設の紹介文を読んで、文の構成を理解する。</p> <p>●郡山西中学校周辺で、有名な場所を挙げる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px 0;"> <b>私たちの町の魅力を海外の人に発信しよう。</b> </div> <p>●次回の授業から1. 民族博物館 2. 郡山城 3. 矢田寺 4. 金魚についてグループで調べるので、どれを選ぶか決め、おうちの人にそれについて知っていることを聞いておく。</p>	<p>・タブレットを使用し、くりかえし発音を練習させる。</p> <p>・文の構成が①「それが何か」②「何ができるか」③「具体的描写」④「読み手への呼びかけ」からなっていることを理解させる。</p> <p>商業施設のようなどこにでもあるものではなく、ここにしかないものを挙げさせる。</p>	<p>△ア①</p> <p>△ウ①</p>
2	<p>●グループ分け 4つのトピックから自分の気に入ったものを選び、グループを作る。</p> <p>●グループで調べ学習 タブレット PC で調べたり、家の人に聞いてきた内容をグループ内でシェアしながら、内容をまとめていく。</p>	<p>・各グループの人数が同じになるようにする。</p> <p>・各トピックが SDGsの何番にあてはまるか考えさせる。また次の時間にインタビューに行くので、聞きたいこと、見たいものなどをまとめさせる。</p>	

	<ul style="list-style-type: none"> <li>●誰に聞けば自分たちの質問の答えがわかるかグループで考える。</li> <li>●質問をまとめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい見方や意見、感想がよりふくらむようにさせる。</li> <li>・ただの観光名所の紹介にならないように注意する。</li> </ul>	
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>●それぞれのグループの疑問を答えてくれる人のところにインタビューに行き、写真や動画で記録をとっておく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インタビューに答えてくれる人に学習の趣旨を事前に伝え、理解してもらっておく。</li> </ul>	
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>●インタビューした内容などをグループでまとめ、英訳していく。</li> <li>●スライドにまとめていく。 文字も入れるが、それを読む音声も生徒が入れる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・再度SDGsの何番にあてはまるか考えさせる。</li> <li>・ALT もいれて、生徒が伝えたい内容をなるべく簡単な英語で表現できるようにする。</li> <li>・グループのメンバー全員が役割を持つるように配慮する。</li> </ul>	<p>△ア② ウ②</p>
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>●クラス内発表を行う。 それぞれの場所にはどんな人たちの思いや願いが込められているのかを理解し、今回自分が調べて学んだことや、他のグループの発表を聞いて学んだことなど、自分の考えをまとめさせる。</li> <li>●発表した内容をどこに発信できるか調べ、発信する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近なところに、古くから大切に受け継がれている思いや、建物があることに気付かせる。また自分の生活とのつながりにも気付かせる。</li> <li>・同じ市内の中学校や、市外、県外の中学校などとオンラインを用いたりしながら発表する機会などがあれば準備し、提案する。</li> </ul>	<p>△イ①②</p>